

本校では、児童生徒・保護者・教職員一丸となって感染症対策を行っています。しかしながら、依然として新型コロナウイルス感染症は拡大しています。安心安全な学校生活のために、日頃の対策を見直し感染拡大防止に努めましょう。

学校生活

児童生徒、職員は手洗い、咳エチケットを徹底し、原則マスクを着けています。体育の授業等では、マスクを外し十分な距離をとって学習しています。



健康観察の徹底

児童生徒と保護者、教職員と家族は、毎朝必ず健康観察を行います。児童生徒は、下校前にも検温します。

※心配な時は自宅で休養してください。



通学バス

保護者送迎による登校と登校時の増便により、乗車率を60%以下としています。

- ・運行前後の消毒
- ・運行中の換気



教育活動の工夫

授業や給食では、児童生徒間の距離を空け、対面を避けています。

集団での活動は、方法や時期を考慮しながら実施しています。



フェイスシールドをつけて食事介助を行います。

換気

可能な限り、窓を開けて授業を行っています。

授業ごとに換気を行います。



衛生環境

職員が毎日、多くの児童生徒等が触れる場所や、共用の教材・教具等を消毒しています。

児童生徒も日々の清掃を行っています。



児童による消毒活動の取組

保護者との連携

体調の変化がある場合、保護者へお迎えと医療機関の受診をお願いします。

児童生徒の心と身体の面で気になることは、担任、養護教諭、スクールカウンセラー等が相談を受けています。



スクールカウンセラー
飯田潤子先生

飛沫防止シールド

会議や寄宿舎の食事で使用しています。

寄宿舎の洗面所には手作りの飛沫防止シールドを設置しています。

